

1 題材名 日本美術の精神性 (鑑賞)

2 目標

- 日本の庭園の鑑賞を通して、日本の美術のよさや美しさに関心を持ち、日本美術の伝統や文化への理解を深めようとする。
(美術への関心・意欲・態度)
- 竜安寺などの日本庭園とベルサイユ宮殿などの西洋庭園の鑑賞を通して、日本と西洋の美術作品それぞれの特徴に気付くとともに日本美術の特徴とその背景にある精神性に対する理解を深めることができる。
(鑑賞の能力)

3 題材設定に当たって

(1) 題材観

日本庭園は、自然本来の姿を生かしながら、四季折々の自然の変化を楽しむことができるように設計され、そこには、自然と密接なつながりを感じながら生活し、文化を育んできた日本人の思想を見ることができる。また桂離宮などに見られる建築と庭園の構成における相互関係は、茶道などの文化と密接な関係をもっている。芸術や文化の発展とともに、茶室や庭園の様式は総合的な芸術として完成されたのである。また、日本人は苔むした岩に「わびさび」を感じたり、水琴窟のかすかな音色を楽しんだりする独特の感性や精神性をもっており、こうしたことが庭園づくりには大きな影響を与えている。こうした日本庭園の特徴は、日本の伝統や文化の特質などを理解する上で有効な教材であると考えられる。新学習指導要領の第2学年及び第3学年の鑑賞の内容では、日本の美術や伝統と文化に対する理解を深め、我が国の美術文化の継承や創造への関心を高めることをねらいとしている。そこで、本題材では桂離宮や竜安寺などの庭園と、フランスのベルサイユ宮殿の庭園との比較鑑賞を通して、我が国の美術文化や芸術の特質、その背景にある精神性などについての関心や理解を深めさせたい。

(2) 生徒の実態

生徒は6月に奈良・京都を修学旅行で訪れ、優れた日本建築や庭園を目にすることにより、美術作品や建築物などにおける「日本的なもの」に対する漠然とした憧れや興味を持ち、日本美術のよさや美しさに少しずつ気付いてきた。そこで、第3学年の美術の大きなテーマを「日本の美」として、尾形光琳の屏風絵「紅白梅図屏風」を中心とした鑑賞の学習を行い、日本画特有の様式美や空間表現の面白さに触れた。また、伊藤若冲などの絵画を模写することを手掛かりとして、小さなサイズの屏風絵を制作する学習や自分の名前を文字を印に彫る篆刻の学習を行った。屏風の作品にはつくった印を落款として押印した。ミニ屏風絵の完成後に、「作品づくりを通して気付いた日本美術のよさや美しさはどんなことか。」という質問をしたところ、次のような答えが返ってきた。

① 西洋との比較に気付いた回答群 (回答数5)
・西洋美術と違う。 ・西洋の絵とは違う表現の工夫がある。(他3名) ・屏風絵のように置く絵画は世界でも珍しい。
② 様式や表現技法に気付いた回答群 (回答数11)
・繊細に描かれている。 ・色使いが複雑。 ・余白を生かすところ。 ・地味な色が多いが調和している。 ・小さく描かれている花が絵の中で大きな存在になっている。 ・金が背景なので美しく感じられる。 ・ぼかしなどの彩色技法を使っている。等
③ 雰囲気や日本美術の背景にある精神性などに気付いた回答群 (回答数13)
・自然の中に自分が入り込み、自然の美しさを理解するところ。 ・静かな感じ。 ・素朴。 ・見ていると落ち着く。 ・深みがある。 ・素朴だけどその中に華がある。 ・花の絵から季節感が感じられる。 ・とても美しく日本人の心を表している。等
④ 間違った認識や漠然とした回答群 (回答数9)
・立体感を出す工夫。 ・屏風絵は普通の絵と違う。 ・作品が自分なりにつくれる。 ・見たものの特徴を細かく丁寧に描く。 ・日本独特で「和」の感じ。 ・ほかの絵とは違ってシンプルで芸術性がある。 ・世界に一つしかない色をつくれる。等

(平成22年11月2日、第3学年3組 34名「屏風をつくろう」の鑑賞カードからの回答。なお回答は複数回答)

日本美術のよさや美しさについて、下線部「自然の中に自分が入り込み、自然の美しさを理解するところ。」のように、日本人の美に対する考え方への考察をした生徒もいたが、多くの生徒は「静かな感じ。」、「素朴。」などのように感覚的なとらえかたに終始していた。これらの回答から、多くの生徒は、日本美術の特徴には気付くことはできたものの、その精神性や文化的な背景をとらえることはできていないと言える。また、間違った認識や漠然とした回答もあることから、日本美術がどのように生まれてきたのか、その文化的な背景や精神性に気付くことができる学習教材や授業の展開を図る必要があると考える。

(3) 指導観

本時の学習では日本特有の美意識を生み出した自然環境との共生や、日本人としての精神性などに気付かせる学習活動を展開したいと考える。その手段として、1学期にも行った日本と西洋の比較から日本の美術のよさや美しさに気付かせるような授業を展開したい。その際、TTの機能を生かし、二人の教師が「日本派」と「西洋派」に分かれ、日本と西洋の作品や庭園などについて、それぞれのよさをプレゼンテーションするという手法をとり、ディベート的な要素を取り入れながら授業を展開することにより、生徒の興味関心を引き出し、日本美術の精神性についての理解と愛情を深めさせたいと考える。

4 指導と評価の計画 (1時間扱い)

(◎は重点)

時	本時の目標	学習内容・活動	評価の観点				評価規準 おおむね達成	評価の方法
			関	発	技	鑑		
1	日本と西洋の庭園の比較から、日本の庭園のよさや特徴、その背景にある精神性に気付くことができる。	日本と西洋のそれぞれの庭園を比較して鑑賞し、日本美術の文化や精神性などについて話し合う。	○			◎	日本の美術のよさや美しさに関心を持ち、伝統や文化への理解を深めようとしている。 日本の庭園のよさや特徴、その背景にある精神性に気付いている。	観察、発表 発表、ワークシート

5 本時の展開

(1) 目 標

日本と西洋の庭園の比較から、日本の庭園のよさや特徴、その背景にある精神性に気付くことができる。

(2) 人権教育との関連

鑑賞を通して考えたことを発表させる際に、生徒一人一人の考えを大切にし、肯定的に受け止め、それぞれの生徒が考察したことを称賛することを通して、人権教育の視点①（お互いの個性を尊重し、一人一人の存在を大切にする。）に迫りたい。

(3) 準備・資料

参考作品：桂離宮、竜安寺、ベルサイユ宮殿等のスライド、ワークシート

(4) 展 開

(◎は人権教育における手立て)

学習内容及び活動	指導・援助の留意点と評価	
1 本時の課題を知る。	T 1	T 2
日本と西洋の庭園を比較し、それぞれの特色を考えよう		
<p>2 日本と西洋の庭園の庭の写真を見て、どちらが好きか考える。</p> <p>プレゼンテーション1</p> <p>日本：桂離宮 西洋：ベルサイユ宮殿</p> <ul style="list-style-type: none"> 好きな理由をワークシートに記入し、発表する。 嫌いな理由を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> T 1は「西洋派」 ベルサイユ宮殿の豪華さをアピールする。 好きな理由を具体的に書かせる。 挙手をさせ、「西洋派」「日本派」どちらなのかを確認する。 好きな理由を「両派」から発表させる。 生徒が感じた嫌いな理由も、それぞれの特徴であることに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> T 2は「日本派」 桂離宮の静かなたたずまいのよさを主張する。
<p>3 日本と西洋の庭園についてのプレゼンテーションを聞く。</p> <p>プレゼンテーション2</p> <p>日本：枯山水の庭 水琴窟 西洋：ベルサイユ宮殿の噴水群</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれのプレゼンテーションから分かったことや感じたことをワークシートにまとめる。 日本庭園の「不完全な美しさ」とはどんな美しさなのか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ベルサイユ宮殿の左右対称の建築構成や、人工的に計画された美しさに気付かせる。 噴水の彫刻によって、王の力を示していることを伝える。 ベルサイユ宮殿の庭園が、遠近法などの考え方を取り入れて設計されていることを伝える。 宮殿に水を引き込むために莫大な費用をかけて水路を建設したことから、自然をも支配しようとしたレイ14世の考えを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の庭園が、自然の姿を模した表現であることに気付かせる。 自然の姿を生かした植栽や、庭園の設計に気付かせる。 枯山水が抽象化された水の表現であり、水を使わずに海や水流を表現していることに気付かせる。 枯山水が石組によって様々な思想を表現した、芸術的要素の高い造形であることに気付かせたい。 石組などを、あえて不完全な配置にしていることに注目させる。
	<p>(評) 日本の美術のよさや美しさに関心を持ち、伝統や文化への理解を深めようとしている。</p> <p>(関心・意欲／観察、発表)</p>	
<p>4 西洋と日本それぞれの庭園のよさや特徴について、感想や意見を発表し話し合う。</p>	<p>◎一人一人の考えを大切にしながら発表を聞くように指導する。</p>	<p>◎主体的に学習に取り組めない生徒や、困っている生徒への個別指導をする。</p>
	<p>(評) 日本の庭園のよさや特徴、その背景にある精神性に気付いている。</p> <p>(鑑賞／発表、ワークシート)</p>	
<p>5 本時の学習をふり返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本と西洋それぞれによさや美しさがあることを再度確認させたい。 	